

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

平成26年10月31日

自然免疫制御技術研究組合

代表 柚 源一郎

1. 調達内容

(1) 調達件名及び数量

- ・ フローサイトメーター 一式 (入札書は別紙1)
- ・ 自動磁気細胞分離装置 一式 (入札書は別紙2)

(2) 調達件名の特質等

入札説明書による。

(3) 納入期限

平成26年12月25日 (木)

(4) 納入場所

香川県高松市林町 2217-16 FROM 香川 3F バイオ研究室

(5) 入札方法

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の8パーセントに相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数の金額を切り捨てるものとする。)をもって落札金額とするので、競争加入者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競争参加資格

自然免疫制御技術研究組合から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

3. 入札書の提出場所等

(1) 入札書の提出場所、契約条項を示す場所及び問合せ先

〒761-0301

香川県高松市林町 2217-16

FROM 香川 3F バイオ研究室

TEL:087-813-9201

(2) 入札説明書の交付方法

本公告の日から組合ホームページ上にて交付する。

URL <http://shizenmeneki.org/>

(3) 入札書の受領期限

平成26年11月7日（金）17時00分

4. その他

(1) 契約手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

(2) 入札保証金及び契約保証金

免除

(3) 入札者に求められる義務

この一般競争に参加を希望する者は、封印した入札書を入札書受領期限までに提出しなければならない。入札者は受領期限日までの間において、自然免疫制御技術研究組合から当該書類に関し説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

(4) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書、入札者に求められる義務を履行しなかった者の提出した入札書は無効とする。

(5) 落札者の決定方法

本公告に示した物品を供給できると自然免疫制御技術研究組合が判断した入札者であって、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

(6) その他

詳細は、入札説明書による。

フローサイトメーター

仕様書

平成 26 年 10 月

自然免疫制御技術研究組合

I. 仕様書概要説明

1. 調達の背景及び目的

フローサイトメーターとは、ラミナーフロー中においてモノクローナル抗体などを用いた免疫蛍光法により染色した細胞や、DNA,RNA 蛍光染色した細胞、細胞小器官(染色体など)、微生物などに各種レーザー光を照射し、発生する前方散乱光や側方散乱光及び蛍光を同時に検出し、目的の細胞集団の解析を行なう装置である。細胞表面マーカー測定や遺伝子発現解析、細胞内酵素活性測定、Ca²⁺イオン測定、細胞周期解析、蛍光色素・蛍光蛋白質による細胞内分子会合解析(FRET)など、多彩なアプリケーションがある。この装置を用いることで、食品や運動機能が与える個体のホメオスタシスを維持する効果を食細胞系の活性化状態でとらえることを目的としている。

そこで、上記の研究目的達成のため、本装置搭載のレーザー波長は、488nm/640nm 近傍の二つが必要であり、前方散乱光、側方散乱光、および 8 種類の蛍光が同時測定できるものが求められる。

2. 調達物品及び構成内訳

1)フローサイトメーター	1 式
〈構成内訳〉	
1. フローサイトメーター本体	1 式
2. 制御解析用コンピュータ	1 式

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(性能・機能に関する要件)

1. フローサイトメーター本体は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 光源に空冷レーザーを用いており、488nm の青色レーザー、640nm 近傍の赤色レーザーの励起光により、研究に用いる各種蛍光色素に対応していること。
- 1-2 レーザーの検出部への照射は光ファイバーによるロスが無く、最大の出力効率で使用が可能であること。
- 1-3 レーザー光はレーザー毎に個別の光路を通るセパレートビームスポット方式で照射されること。
- 1-4 検出部は、8 色以上の多重染色に対応していること
- 1-5 高速な演算回路を用いたデジタル式自動細胞解析システムであり、細胞解

析速度は最大 25,000 個／秒以上の性能を有していること。

- 1-6 検出された信号処理は 20ビット以上の処理が行え、サンプリング速度 40Mhz 以上のデジタル波形処理が可能で蛍光分解能が 100 万チャンネル以上であること。
- 1-7 前方散乱光は3つのモードによる散乱角の切り替えにより、血小板領域やマイクロパーティクルに相当するような微細なサンプルの解析も可能であること。
- 1-8 測定中に二次元グラフ上の感度とコンペンセーション(蛍光補正)の二つの設定を同時にスライダーで調整できること。
- 1-9 蛍光補正は、全てのレーザー及び蛍光検出器の間で補正が可能であり、グラフ上のスライダーを操作することで簡便に補正操作が可能であること。
- 1-10 室温によるレーザーの出力変化を防ぎ、季節や空調になどの周囲環境に影響されない温度コントロール機構が搭載されていること。
- 1-11 自動サンプルローダーを有し 30 本以上のサンプルチューブの自動測定が可能であること。更に測定前にボルテックスにてサンプルの十分な攪拌が行えること。
- 1-12 拡張性として 405nm 及び 561nm の各波長のレーザーが追加搭載できること。

2. 制御解析用コンピュータは、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 フローサイトメーター本体から取得したデータを解析・処理できる機能を有していること。
- 2-2 解析用ソフトは、操作の日本語表示が可能であること。
- 2-3 CPU は、2.0GHz 以上の計算性能、機能を有すると判断されること。
- 2-4 メモリ容量は、4GB 以上であること。
- 2-5 内蔵ハードディスクの容量は 160GB 以上であること。
- 2-6 OS は、Microsoft 社製 Windows 7 相当以上の性能、機能を有すると判断されること。
- 2-7 対角 22 インチ以上の液晶カラーモニタ及びマウス・キーボードを装備していること。

自動磁気細胞分離装置

仕様書

平成 26 年 10 月

自然免疫制御技術研究組合

I. 仕様書概要説明

1. 調達の背景及び目的

自動磁気細胞分離装置は磁気を有した粒子を抗体等でコーティングすることで、選択的に細胞を分離できる装置であり、生体から分離した比較的大量細胞を短時間に細胞のダメージなく精製する手法として優れている。この装置を用いることで、食品や運動機能が与える個体のホメオスタシスを維持する効果を解析するために、食細胞系を生体から単離し、細胞、タンパク質、遺伝子レベルでの状態評価でとらえることを目的としている。

2. 調達物品及び構成内訳

1 自動磁気細胞分離装置	1 式
--------------	-----

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(性能・機能に関する要件)

1. 自動磁気細胞分離装置本体は、以下の要件を満たすこと。
 - 1 細胞分離方式は磁気細胞分離方式で行う。
 - 2 オートサンプラーを用いて最大6サンプルまでの連続分離が可能。
 - 3 分離細胞の冷却機能があり10℃以下で連続処理できること。
 - 4 磁気標識抗体の種類の変更により目的細胞もしくは非目的細胞の分離が可能なこと。
 - 5 センサーにより、カラム、バッファーの使用状況が確認できること。
 - 6 自動プログラムによるスタートアップ、シャットダウン、流路洗浄が可能なこと。
 - 7 流路を除菌することが可能なこと。
 - 8 細胞分離は2分から15分以内に終了すること。

